

一般質問

9 名が登壇 市政を問う

*この一般質問は 6 月 13 日に行われたものです。



議会の様子は「YouTube」で配信されています。

一般質問

・市長就任にあたっての 決意について



阿南 澄男

問

下村市長には市民の期待に応えるべく、市政運営に邁進されることを強く望んでおります。御前崎市は、市制施行から20年の間2人の市長が担ってきた市政運営を、下村市長はどのように分析し、評価しているのか伺う

答

石原市政の3期は、合併後の課題が山積するなか、第1次御前崎市総合計画を策定し、第1次産業の振興、御前崎港の基盤整備におきまして大変ご尽力されております。柳澤市政の2期は、浜岡中学校の建て替え、給食費無償化、高校生年齢までの医療費無償化など実行に移されました。一方、平成23年の原子力発電所運転停止以降、税収が大きく減少した状況において、政策として歳出削減、歳入増加策が十分ではなかったという点に言及しなければなりません。今後、市債の返済が予定される大変厳しい財政状況のなか、職員が総力を上げて現在の施策を再検証し、無駄を省き、効率的に予算を執行していく状況に今

問

移行しているところです。実質単年度収支の健全化は、まさに今、我々が全力で取り組まなければならない課題であると考えております。その上で、地の利や特徴を生かして次期総合計画を真摯に検討し、御前崎市を発展させていくことが私の責務だと思っています。

下村市長は柳澤市政をそのまま引き継ぐのではなく、全てゼロからやり直すくらいの覚悟と熱意を持って市政運営に臨んでもらわなければなりません。大変厳しい船出となりましたが、改めて市長就任に当たった決意を伺う

答

私は、困難な状況だからこそ、熱意をもって市政運営に取り組まなければならないと感じており、この状況を知った上で、前職を辞して、御前崎市のために身をささげるつもりでおります。この難局を乗り越えていくためには、みんなの力が合わることで達成できると思っています。

一般質問

・総合計画の期間について ・学校給食の牛乳ストロー削減について



阿形 昭

問

2年後に第3次総合計画がスタートします。今までは10年の長期計画でしたが、市長の任期に合わせた8年にすべきではないでしょうか。行政サイクルの計画期間と政治サイクルの市長の任期を一致させ、計画の実行性を高めた8年間の計画期間にすべきではないか

答

本年度より2カ年をかけて策定する第3次総合計画は、市長の考えを反映できる最適なタイミングです。この時点で市長の就任期間に合わせた8年間の計画期間とすれば、4年ごとの見直しもでき、今後も市長の考えを反映させた総合計画で回していくことができると思います。担当課へ既に指示をしました。

問

御前崎市の学校給食では、昨年からは牛乳のストローがプラスチックストローから5%バイオマス配合のストローに変更されています。思い切ったストローを

使わなくても飲用可能な「ストローレス容器」に変更できませんか。ごみの削減、そして児童生徒の環境意識を高めるために、ストローがなくてもそのまま飲める容器に変更できないか

答

ストローレス容器への変更を実施している事業のため、本市単独での対応は難しい状況です。静岡県学校給食会及び静岡県牛乳協会では、令和5年度からプラスチックストローからバイオマスストローに変更するなど環境に配慮した取組みを行っており、今後もストロー削減に向け検討しているとの情報を持っていますので、その成果を注視していきます。

